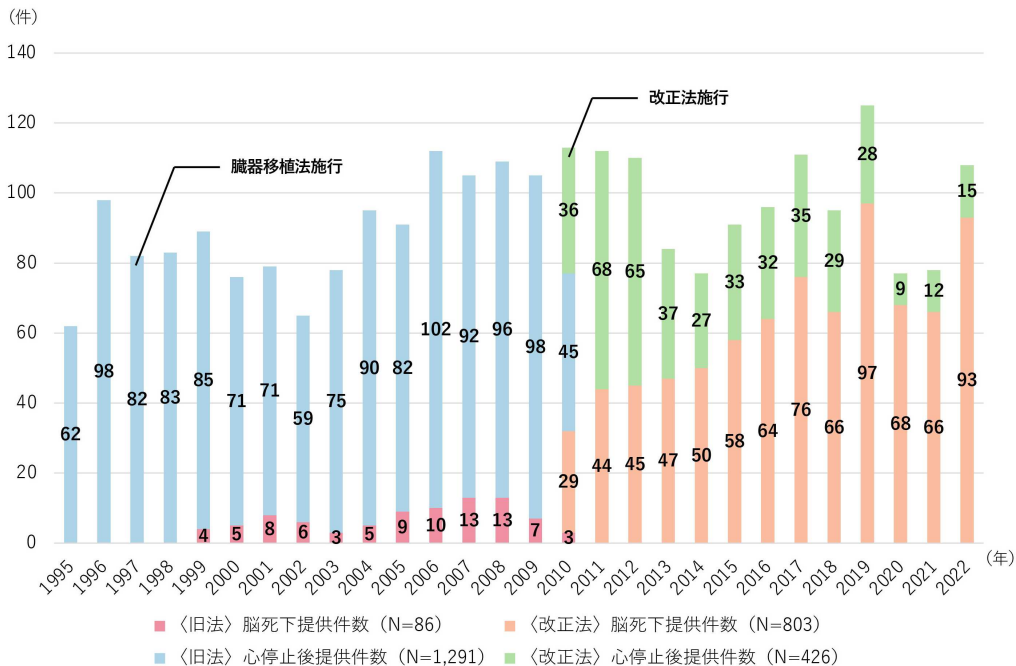




日本における移植医療の現状

臓器提供数の推移

国内の死後（脳死下及び心臓の停止後）の臓器提供件数は年間およそ100件前後で推移しているのが現状です。2010年の改正臓器移植法施行により、本人の拒否の意思がない場合は、本人の意思が不明であっても家族の承諾で臓器提供ができるようになりました。合わせて、可能となった15歳未満の小児からの提供も含め、脳死下の提供件数が増えています。

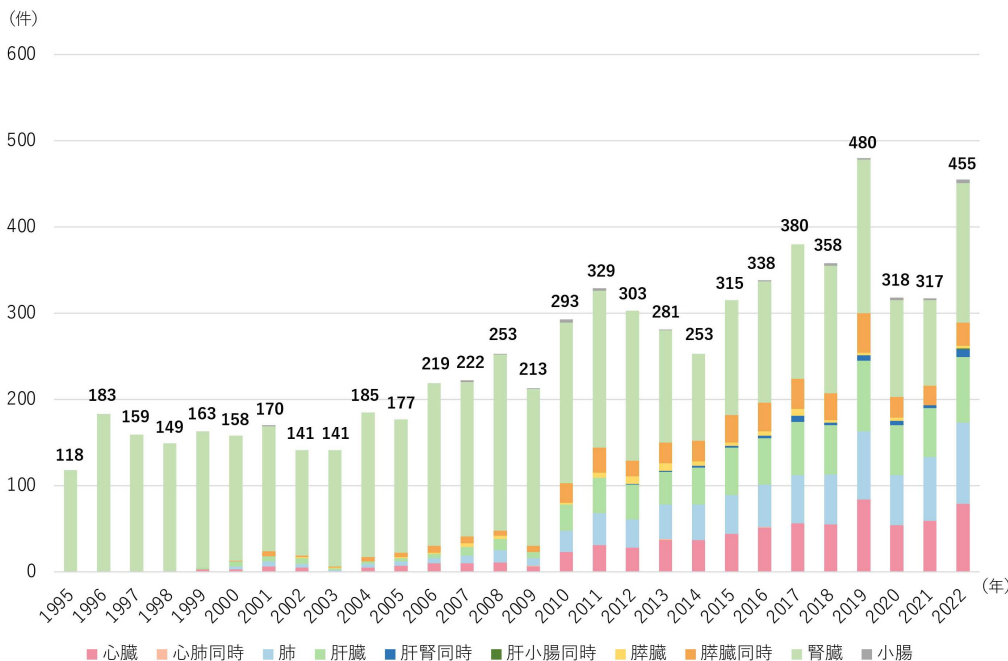


※1995年は、日本臓器移植ネットワーク発足後の4～12月

臓器移植件数の推移

臓器移植の件数は、2010年の改正臓器移植法施行により脳死での臓器提供件数が増えたことに起因して増加しています。具体的には、心停止後に提供できる臓器は、膵臓、腎臓、眼球*に限られているのに対し、脳死下では、これらの臓器に加え、心臓、肺、肝臓、小腸が提供できるためです。

しかしながら、移植件数は移植希望登録者数の増加に追いついていないのが現状です。



※1995年は、日本臓器移植ネットワーク発足後の4～12月

*眼球：眼球については臓器移植件数に含まれていません



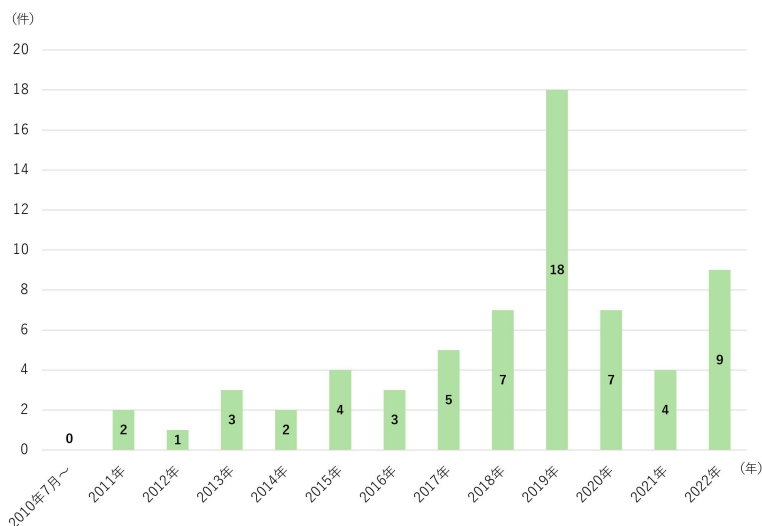
臓器移植後の生存率

日本の臓器移植の医療技術と移植後のケアは非常に高い水準にあります。移植後5年で移植者が生存している割合（生存率）は、心臓、膵臓、腎臓で90%を超え、肝臓80%、肺、小腸は70%を超えます。腎臓は透析によって、膵臓はインスリンによって命をつなぐことができますが、心臓や肺、肝臓などは移植を受けなければ生きていくことができません。移植を受けなければ数カ月後には亡くなられていた可能性を考えれば、移植医療は命をつなぎ、生きる希望となっているといえます。

小児脳死下臓器提供と移植の現状

2010年の改正臓器移植法施行に伴い小児の脳死下臓器提供が可能となりましたが、特に家族の心情に配慮しつつ、虐待の除外や厳密な法的脳死判定の実施など慎重な対応が求められています。そのような状況において、2022年12月末までに、18歳未満からの脳死下臓器提供が65件あり、合計302名の方々が移植を受けることができ、多くの小児登録者が移植を受けるに至っています。提供された方々の公表されている年齢区分では、6歳未満25件、6歳以上10歳未満5件、6歳以上18歳未満21件、10歳以上15歳未満9件、15歳以上18歳未満5件でした。また、心臓、肺、肝臓移植は18歳未満の提供者からは18歳未満の登録者が優先され、腎臓、膵臓移植は20歳未満の提供者から20歳未満の登録者が優先されるルール（レシピエント選択基準）になっています。これにより、小児の移植希望登録者が優先的に移植を受けられます。

小児の脳死下臓器提供件数



ご両親から臓器を提供したお子さまへの手紙

Aちゃんが体調を崩してからお父さんとお母さん辛くてね。毎日毎日神様をお願いしました。目に見える物全てに、お山に行ってお願ひして、川が見えればお願ひして、海に向かって…いろいろ神社なんか夜中に行ってお願ひしました。最後には落ちていた石ころさんたちにもお願ひしたんだよ。

でもね、どうしてもAちゃんとお父さんを入れ替えることはできないんだって。もう目を覚ますことはできないんだって。もう長くは一緒にいられないんだって。

お父さんとお母さんは辛くて辛くて、寂しくて寂しくて泣いてばかりいたけれど、そんな時に先生からの説明でAちゃんが今のお父さんやお母さんみたいに涙にくれて生きる希望を失っている人の、臓器提供を受けなければ生きていけない人の希望になれることを知りました。どうだろう？Aちゃんは思う？いやかな？お父さんやお母さんは悩んだ末、Aちゃんの臓器を困っている人に提供することを決めました。もしいやだったらゴメンね。お父さんもお母さんも臓器を必要としている人がたくさんいて、その人を見守る人たちがどんなに辛く苦しい思いをしているか知っています。もしその人たちにAちゃんが役に立てるなら、それは素晴らしいことだと思ったんだよ。一人でも人の命を救う。心を救う。ってすごく難しいこととお父さんもできるかもわからない。だけど、とても素晴らしく、尊いことなんだよ。

もしAちゃんが人を救うことができたり、その周りの皆さんの希望になれるとしたら、そんなにも素晴らしいことはないと思ったの。こんなにも誇らしいことはないと思ったの。Aちゃんが生きて証じゃないかって思ったの。今のお父さん、お母さんみたいに苦しんでいる人が一人でも笑顔になってくれたらどんなに素晴らしいだろうと思ったの。そして、その笑顔はお父さんやお母さんの生きる勇気にもなるんだよ。いつも周りのみんなを笑顔にしてくれたAちゃんだから、きっとまた世界の笑顔を増やしてくれるよね？命は繋ぐもの。お父さんとお母さんがAちゃんに繋いだようにAちゃんも困っている人に命を繋いでくれるかな？

願わくば、お父さんとお母さんがAちゃんにそうしたように、AちゃんもAちゃんが繋いだその命にありったけの愛を天国から注いでくれると嬉しいな。



お母さんより

お父さんより

※実名の公開を避けるために、お子様の名前を“Aちゃん”と表記しています